

# 平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果より

～我孫子第四小学校～

学力について

☆問題 A:主に「知識」に関する問題 問題 B:主に「活用」に関する問題

- 国語 A … 全国・県平均正答率と「ほぼ同程度」  
国語 B … 全国・県平均正答率と「やや上回っている」  
算数 A … 全国・県平均正答率から「ほぼ同程度」  
算数 B … 全国・県平均正答率から「ほぼ同程度」  
理科 … 全国・県平均正答率と「やや上回っている」

## 国語について

- 『読む』『書く』『話す』の観点は正答率が高く、無回答も少ない。

## 算数について

- 『図形』『数量関係』の観点は正答率が高い。
- △『数と計算』『量と測定』の観点がやや弱い。

## 理科について

- 『物質』『エネルギー』『生命』『地球』の4分野において、正答率が高い。また、無回答も少ない。

自尊意識  
生活習慣等

☆児童に対する質問紙調査結果より

## 教科への関心について

- 国語への関心は全国・県平均より高い。
- △算数への関心は全国・県平均よりやや低い。
- 理科への関心は全国・県平均と同程度。

## 生活習慣について

- 基本的な生活習慣が出来ている児童が多い。

## 読書習慣について

- 読書が好きな児童はとて多い。読書習慣も身につけている。

## 家庭学習の習慣について

- △予習している児童としていない児童の二極化が見られる。

## その他について

- 学校のきまりを守っている児童が多く、規範意識は高い。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことと認識している。

## 【調査結果からの今後の取り組みについて】

### 国語

- 新聞の特徴を理解し、目的や意図を意識して紙面全体を構成するようにさせる。
- 習得した漢字を読んだり書いたりする機会を、意図的・計画的に設定することによって、児童が漢字を身近なものとして捉えることができるようにする。
- 読書タイムによる、読書習慣の定着は図れているため、継続して取り組む。
- ドリルタイムで漢字の繰り返し学習を行い、更なる定着を図る。

☆上記の他に、我孫子市の分析による国語科の日常的な取り組みも実施していきます。

### 算数

- ドリルタイムを計画的に活用し、知識の定着を図る。
- 小数の加法及び減法の学習では、計算の結果を見積もる習慣をつけることを大切にしながら、筆算の際には位をそろえて計算することの理解を確実にさせる。
- 考えが誤りやすい場面を取り上げた際に、自分の考えをふり返るようにさせる。
- 形式的な処理に終わらせることなく、日常生活での経験や興味・関心と関連づけて、概算の用語や処理の仕方を取り扱うようにする。

☆上記の他に、我孫子市の分析による算数科の日常的な取り組みも実施していきます。

### 理科

- メダカの飼育において、観察を重視し、雌雄を見分ける方法を調べ、実際に見分ける活動を行うようにする。
- 実験を通して、実感を伴った理解を得られるように、実験器具の充実を図り、実験時間の十分な確保をしていく。

☆上記の他に、我孫子市の分析による理科の日常的な取り組みも実施していきます。

### 自尊意識・生活習慣

- 読書習慣を継続するために、今後も読書タイムを大切にしっかりと取り組む。
- 高い規範意識を継続するために、今後も『四小児童の基礎・基本』を大切に指導する。
  - ・「ハイ」という返事
  - ・あいさつ
  - ・「ありがとう」「ごめんなさい」
  - ・かさ、くつをそろえる
- 家庭学習については、千葉県教育委員会「家庭学習のすすめ」をHPや学校便りにて紹介し、活用を推進していく。

☆ **今後も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。**